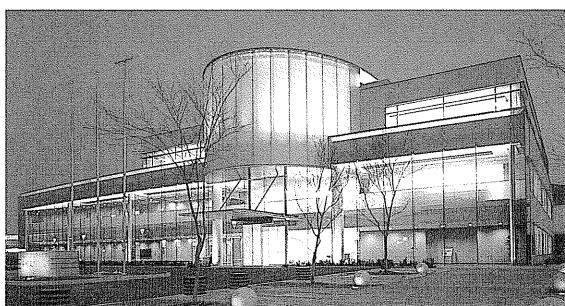
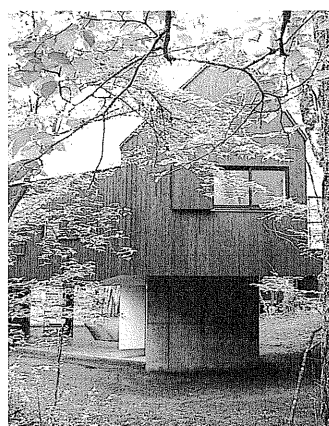
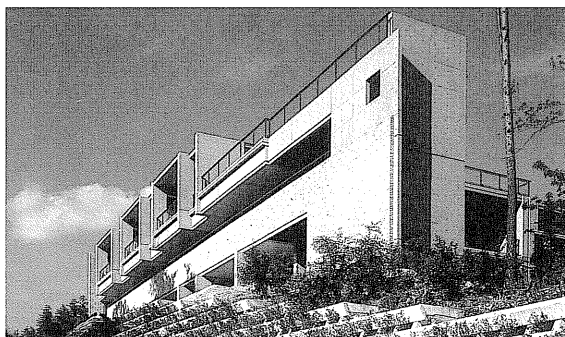
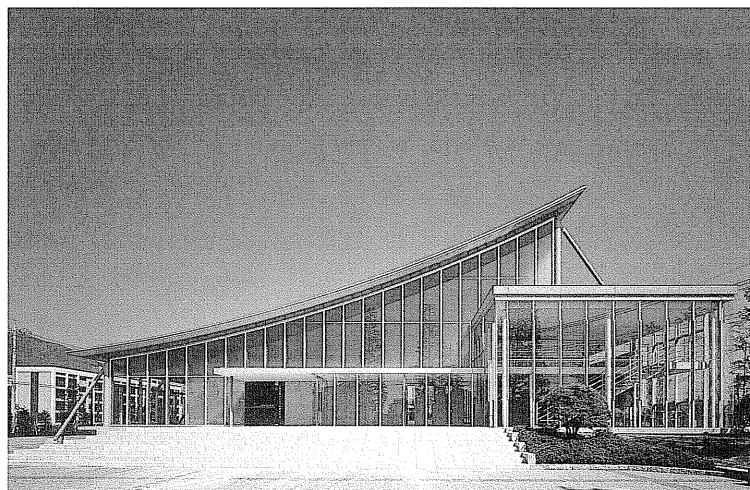
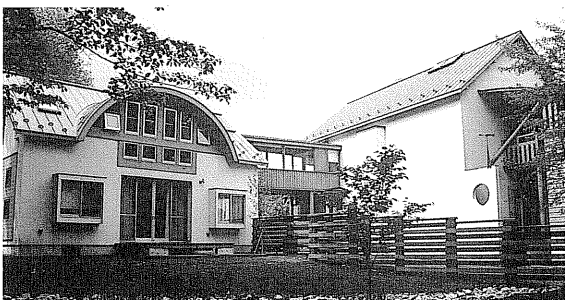
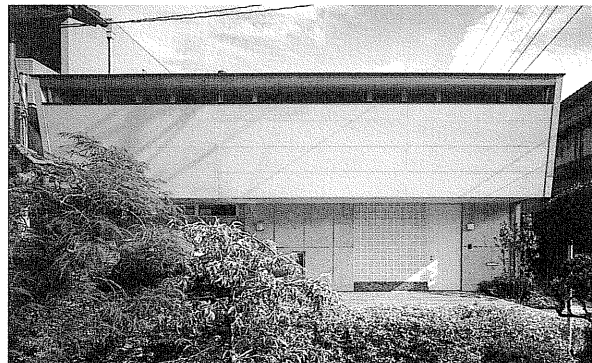


建築士 やまなし

No.45

— ARCHITECTURE YAMANASHI —



平成15年度 山梨県建築文化賞等受賞作品

- ①大月の家（建築文化賞）
- ②山梨学院ソドニー記念水泳場（建築文化賞）
- ③麓の家（建築文化奨励賞）
- ④茅ヶ岳山麓の家（建築文化奨励賞）
- ⑤黒井健絵本ハウス（建築文化奨励賞）
- ⑥特別養護老人ホームみのる荘（建築文化奨励賞）
- ⑦市川大門町庁舎（建築文化奨励賞）
- ⑧ランちゃん家（建築文化賞審査委員会特別賞）

●目次●

- 2. 年頭のごあいさつ （社）山梨県建築士会会長 名取 藤彦
- 3. 受賞者の声
- 4. 第38回スポーツ大会 グラウンドゴルフに寄せて 都留支部
- 5. 県からのお知らせ
- 9. 青年部・女性部報告 立和名浩之・奥石範子
- 10. 建築学会研修 山梨支部 小尾昭七
- 11. 住宅フェアによせて 事務局 清水昭夫
- 12. 事務局よりお知らせ 会員の動静 編集後記

年頭のご挨拶

(社) 山梨県建築士会会長

名 取 藤 彦



会員の皆様、明けましてお目出度うございます。2004年の輝かしい新春をお迎えの事と、お慶び申し上げます。又、平素はわが「山梨県建築士会」の諸事業に積極的にご協力を頂き心より感謝申し上げる次第であります。

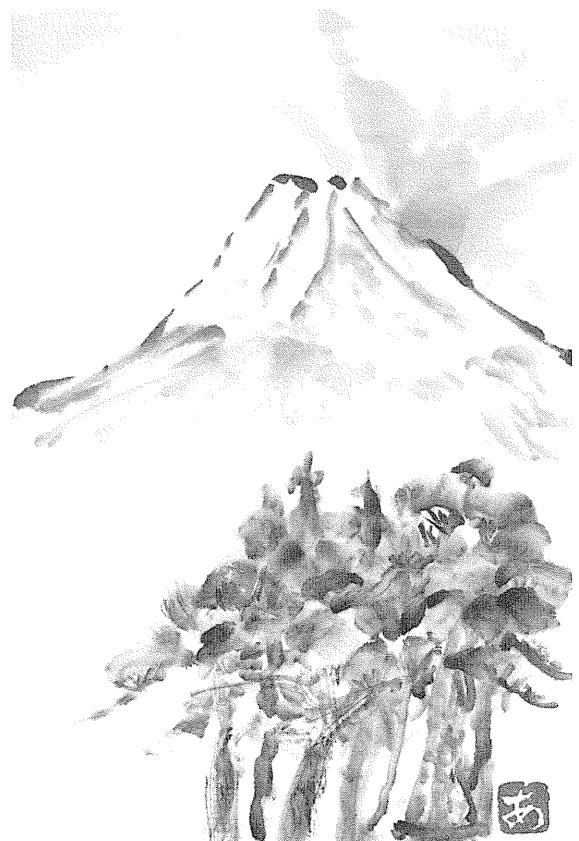
今、私共建築士を取り巻く環境は、既に皆様ご承知の様に、長引く不況を反映する社会的要因等非常に厳しいものがあります。「連合会」に於ても、会員の増強、国際化に伴う会員の資質の向上、社会的地位の向上、社会に貢献する建築士像の構築、等に向けて様々な施策を展開しているところであります。その一つは、「建築学会」を始め、関係諸団体と連携して実施している「CPD」—建築士会継続的能力開発制度—であり、その一つは、既に、東京、大阪、静岡、栃木で試行に入っている「専攻建築士」制度であります。全国的には、平成17年度の立上げを目指しているところであります。わが「山梨県建築士会」に於ても、既に多数の会員諸兄のご参加を頂き、「CPD」を施行しておりますが、「専攻建築士制度」も全国の単位士会の動向を見ながら立上げるべく準備を進めている状況であります。多数の会員の賛同を頂く中で、スムーズに立上げる事が出来る様皆様のご協力を、切にお願いするところであります。

さて、士会通年の諸事業を振り返りますと、1月の応急危険度判定訓練から始まり、指定講習会、1級2級建築士試験、7月の建築士の日全国一斉相談日の実施、8月のスポーツ大会の開催、建築士会全国大会「宮崎大会」への参加、住宅フェアへの出展、多様な各種の講演会、講習会等会員諸兄多数の絶大なご協力により、盛大かつ滞りなく実施する事が出来ました。特にスポーツ大会に於いては、従来ソフトボールからグランドゴルフに移行して、2年目を迎えましたが、先ず成功の内に実施され、今後グランドゴルフが定着していくものと思われました。

行政に於いては、昨年は民間の確認申請、検査機関が立上げられたのは、画期的な事であり、今後共会員が大いにご利用される事をお願いするところであります。

以上様々列記してきましたが、本年も関係各行政機関の変わらぬご指導を頂く中で、士会の開催する各種事業が、会員諸兄のご協力を得ながら実施する事が出来ます様、切に期待するところであります。又本年は役員改選の機にもなっております。より強力で斬新な布陣で、充実した士会になる様会員諸兄のご協力を、心からお願いするところであります。

最後になりましたが、今年の会員各位が、益々ご健勝で、ご発展される事を記念して年頭のご挨拶といたします。



受賞者の声

●旭日小綬賞●

佐野好



11月6日(木)午前赤坂ホテルにて叙勲の伝達を受け、午後から皇居において天皇陛下とのご会見が予定されていましたが、天候が悪くあやぶまれておりました。

皇居へ向うころには、晴れ間も見え、陛下にお会いできることが楽しみになりました。

2時50分頃、国交省の方のお手伝いをいただき車いすでしたが、受賞者の方々の列に我が身を置きました。いよいよ陛下がお越になり、何人かの方々にお声掛けをしていらっしやいました。まさか私に声を掛けて下さるとは、予測しておりませんでしたので大変名誉なことでありました。

「いかがですか」「ハイ、ありがとうございます。何とかがんばっています」「気をつけてね」「ありがとうございます。陛下もお気をつけ下さい」「ありがとう」こんな会話でしたが、秋晴れの空のごとくすがすがしい思いをいたしました。

※(叙勲受賞記念として佐野好様より金一封をいただきましたので図書購入積立預金に繰り入れました。)

●国土交通省 大臣表彰●

遠藤順彦



平成15年6月30日付封書を山本栄彦山梨県知事から戴き『平成15年建設事業関係功労者等表彰』を戴く事が知らされ、国土交通事務次官から『この度、貴殿は建設事業関連のご功績により7月10日付をもって国土交通大臣から表彰されることになりました。つきまして、下記により表彰式を行いますので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。』との案内状の送付がありました。

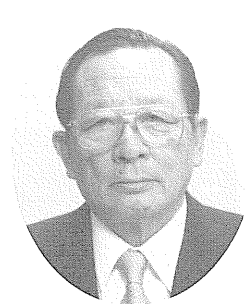
7月10日(木)午前11時に国土交通省10階共用大会議室において開催された表彰式は国土交通省関係11団体271名と1団体5名の受賞者が16列に着席し、主催者側に扇千景大臣(副大臣代理)以下事務次官・審議官・局長が整列し、来賓の各関連団体会長のご臨席を戴いて開催された。

関連団体ごと受賞者全員の名前が読み上げられ代表が大臣から表彰状を戴き、受賞者代表のお礼の挨拶があり、45分ほどで終了した。その後おのおの表彰台をバックに記念写真を撮る光景も見られ、私も日事連事務局による記念撮影を撮っていただいた。

最後になりましたが建築士会に30年以上お世話になり受賞をいただきましたことを感謝しています。

●日本建築士連合会 会長表彰●

清水伴造



10月24日第46回建築士会全国大会が日向灘に面した宮崎市のシーガイアサミットホール4階に於いて式典が3200名の参加のもと盛大に開催されました。宮崎建築士会黒木会長の歓迎のことばがあり今大会のテーマは「ひむかで誓う建築と自然の共生」～地域からの変革そして発信です～の発表がありました。宮本建築士会連合会長の挨拶、来賓の方々より祝辞があり、大韓建築士協会李会長は、「日韓建築士が両国における実務学術文化交流に立派な架け橋的役割を担ってきており、特に1997年より中国建築管理委員会を加え『市場開放と国際化』と言うフレームの中で東アジアにおける建築士資格者の立場をより強固にすることです」と祝辞がありました。

この大会で私が名取会長様を始め関係の方々から推薦を戴き連合会長賞を受賞することが出来ました。身にあまる光栄であり厚く御礼申し上げます。

支部
だより

スポーツ大会を通して思うこと

都留支部長 志村 晴 紀

山梨県建築士会第38回スポーツ大会は、昨年に引き続きグラウンドゴルフとしては2回目の大会になりました。準備等につきまして、前回開催地である大月支部のご指導を賜り都留支部の役員をはじめ会員、当支部会員でもあります小林義光市長にもご協力頂きスムーズに行われました。

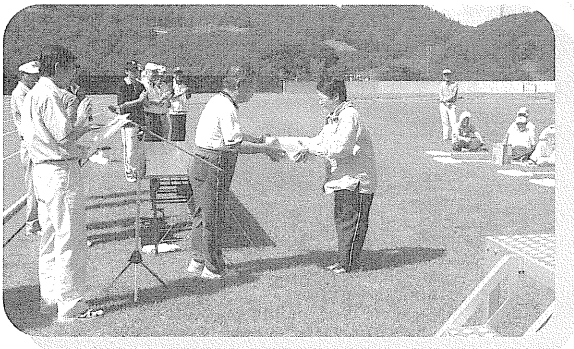
前日までの冷夏と打って変わった猛暑の中、盛況かつ無事にスポーツ大会を終了できましたことに山梨県建築士会の会長、役員をはじめ会員各位に改めて御礼申し上げるしだいでございます。

このような交流を通して支部内、支部間および山梨県建築士会の若い人から年配の人までの親睦を図ることができる。と2回のスポーツ大会が教えてくれたと思っております。

また、青年部の人たちのスコアー表作成、メーリングリストを使っての連絡網等の若い人たちでなければ出来そうもないこと。年をとった人の方が出来そうなこと。等々考えさせられるものがあったと思っています。

急遽支部長を仰せつかり、2年間何も出来ないままですが、多くの人のご指導、ご協力を頂いたことに深く感謝申し上げるとともに、今後も少しでも恩返しできるよう精進努力する所存でございます。

山梨県建築士会および会員各位のますますの発展をご祈念申し上げます。



県からのお知らせ

山梨県建築指導課

<http://www.pref.yamanashi.jp/doboku/kenchiku/>

◎平成15年度 山梨県建築文化賞について

快適な地域環境を形成し、景観上及び機能性等に優れた建築物を表彰することにより、建築文化の高揚を図り、魅力と風格のある文化的で快適なまちづくりを推進するために、山梨県建築文化賞顕彰事業を実施しております。

本年度も建築士会の会員の皆様をはじめとして多くの方々から、大変素晴らしい作品をご推薦頂き感謝申し上げます。

応募作品118作品（住宅建築47作品、一般建築物等36作品、公共建築物等35作品）のうち、建築文化賞2作品、建築文化奨励賞5作品、審査委員会特別賞1作品を昨年の11月13日に表彰させて頂きました。

なお、県のホームページに受賞作品を掲載していますのでご覧下さい。（問い合わせ先：055-223-1734）

平成15年度 山梨県建築文化賞等表彰建築物一覧表

賞の名称	部 門	建築物の名称	所 在 地	建 築 物 の 概 要					建 築 主	設 計 者	施 工 者
				用 途	工事種別	構造	階数・高さ	延べ面積			
建 築 文 化 賞	住 宅 建 築	大月の家	大月市御太刀 1-9-26	住 宅	新築	RC造	地上2階 地下1階 6.58m	239.0㎡	安 田 哲 朗	設計同人・白井事務所 白井克典	(株)大月工務所 代表取締役 天野 洋
	一 般 建 築 物 等	山梨学院ソドニー記念水泳場	甲府市国玉町 34外	屋内 プール	新築	鉄骨造 一部 RC他	地上2階 地下1階 14.10m	2,151.98㎡	学校法人山梨学院	清水建設(株) 一級 建築士事務所	清水建設(株) 関東支店
建 築 文 化 奨 励 賞	住 宅 建 築	ふもと 麓の家	南都留郡鳴沢村 富士山10445- 427	住 宅	新築	木 造 一部 RC造	地上2階 7.90m	91.60㎡	K 様	伊藤朱子アトリエ 伊藤朱子	(株)井出工業
		茅ヶ岳山麓の家	斐崎市徳坂町 宮久保6313-3外	住 宅	新築	木 造	地上1階 4.60m	83.72㎡	T 様	向山徹建築設計室 向 山 徹	(株)杉山工務所
	一 般 建 築 物 等	黒井健絵本 ハウス	北巨摩郡高根町 清里字念場原 3545-937	展示ギャ ラリー・ 住宅	新築	木 造	地上2階 10.20m	301.23㎡	黒 井 健	(株)建築計画研究所 都市梱包工房 代表取締役 入之内 瑛	(株)山口工務店 代表取締役 山口利幸
		特別養護老人 ホームみのる荘	北巨摩郡高根町 箕輪2,270-1	特別養護 老人ホーム	新築	RC造	地上2階 地下1階 13.00m	3,654.72㎡	社会福祉法人 高根福祉みのる会	株式会社日建設計	西松建設(株)・井尻 工業(株)共同企業体
	公 共 建 築 物 等	市川大門町庁舎	西八代郡市川大 門町1790-3	庁 舎	新築	RC造	地上3階 15.85m	4,841.22㎡	市川大門町長 久 保 眞 一	株式会社日建設計	戸田建設(株)

山梨県建築文化賞審査委 員会特別賞	ランちゃん家 ち	甲府市丸の内 2-18-1	住 宅	新築	木 造	地上1階 4.40m	49.66㎡	伊 藤 嵐 らん
----------------------	-------------	------------------	-----	----	-----	---------------	--------	-------------

◎緊急木造住宅「わが家の耐震診断」支援事業について

平成7年の阪神・淡路大震災では、6,400人を超える方々が犠牲になり、この内約8割が家屋の倒壊などで亡くなりました。更に、倒壊した住宅などにより街路が塞がり、逃げ遅れや救出の遅れ、消火活動ができずに火災の拡大を招くなど、住宅の被害が地震被害をより大きくした原因にもなりました。

本県においても、東海地震や南関東直下プレート境界地震、活断層による地震の発生の恐れが指摘され、相当の強振動が予測されています。このことから、可能な限り早期に建物の耐震対策を行っていかねばなりません。特に建物の圧倒的多数を占める既存木造住宅の耐震診断・耐震改修の促進は緊急の課題です。

県では、これまでも耐震改修の促進を図ってきましたが、更に促進することを目的として、市町村が行う木造住宅の耐震診断事業に、事業費の一部を補助する緊急木造住宅「わが家の耐震診断」支援事業を昨年10月に創設しました。

市町村が派遣した耐震診断技術者が木造住宅をマニュアルに基づき診断を行い、その結果を市町村から所有者に通知し、今後の耐震改修などの判断に役立てて頂くとするものです。診断対象住宅は昭和56年の基準改正以前に着工された、在来軸組構法の木造戸建て住宅です。詳細は事業を実施する市町村にお問い合わせください。

◎風致地区条例の改正について

1. 趣旨及び決定状況等

風致地区とは、都市における良好な自然的景観を維持するために定められる都市計画法上の地区制度です。

次のいずれかに該当する土地の内、土地利用計画上、都市環境の保全を図るため風致の維持に必要な区域が都市計画決定されます。

- ア. 樹林地若しくは樹木に富んだ土地（市街地を含む。）であって、良好な自然的景観を形成している土地。
- イ. 水辺地（水面を含む。）、農地その他市民の郷土意識の高い、良好な自然的景観を形成している土地。

山梨県では、10箇所、合計面積約2032haの風致地区が都市計画決定されています。

風 致 地 区 名	面 積 ha	市 町 村 名	指 定 年 月 日
甲 府 城 跡	5.5	甲 府 市	昭 和 15 年 5 月 31 日
愛 宕 山	107.5		
護 国 神 社	168.8		
酒 折	7.4		
荒 川	75.5		
和 田 峠	279.5		
身 延 山	799.0	身 延 町	昭 和 26 年 5 月 28 日
月 見 ケ 丘	60.0	上 野 原 町	
島 田	427.0		
忍 野	102.0	忍 野 村	
計 10 地 区	2032.2		

山梨県は、これらの風致地区内において風致を維持するために、「風致地区内における建築等の規制に係る条例の制定に関する基準を定める政令」に従い、「山梨県風致地区条例」を制定し、建築物の建築等に対して規制を行っています。

2. 風致地区での規制

風致地区内で次の行為をしようとする場合は、山梨県風致地区条例に基づき、山梨県知事の許可が必要です。

ただし、平成16年4月1日から、甲府市内の風致地区内の行為は、山梨県知事に代わり甲府市長の許可が必要となります。

- ① 建築物その他の工作物の新築、増築、改築及び移転
- ② 宅地の造成、土地の開墾その他の土地の形質変更
- ③ 木竹の伐採
- ④ 土石類の採取
- ⑤ 建築物等の色彩の変更
- ⑥ 水面の埋立
- ⑦ 屋外における土石、廃棄物または再生資源の堆積（平成16年4月1日から規制）

また、風致地区内は、屋外広告物の表示・設置について第1種禁止区域になっています。

3. 山梨県風致地区条例の改正について

山梨県は、政令の改正に基づき、平成15年12月に山梨県風致地区条例を改正し、平成16年4月1日から施行します。

改正内容は次のとおりです。建築等の行為を行う場合は注意してください。

・制度の改正

- ①10ha未満の風致地区は、市町村が条例を制定し市町村長が規制を行う。
- ②10ha以上の風致地区で特例市である甲府市内のものは、県条例により甲府市長が規制を行う。

・基準の改正

- ①宅地の造成等が行われた土地における建築物の新築については、木竹が保全され又は適切な植栽が行われる土地の面積が、敷地面積の10%以上とすること。
- ②宅地の造成等については、木竹が保全され又は適切な植栽が行われる土地の面積が、宅地の造成等の面積の10%以上とすること。
- ③屋外における土石、廃棄物又は再生資源の堆積は、堆積を行う土地及びその周辺の土地の区域における風致の維持に支障を及ぼすおそれが少ないこと。

住宅性能表示制度を活用しましょう！

山梨県住宅課 <http://www.pref.yamanashi.jp/doboku/jutaku/>

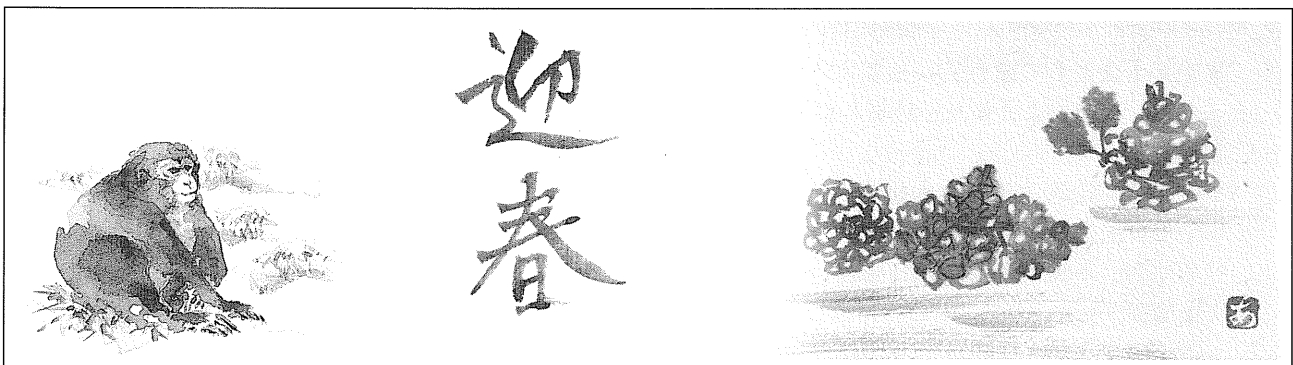
「住宅性能表示制度」は、良質な住宅を安心して取得できる市場を形成するためにつくられた「住宅の品質確保の促進等に関する法律」の中の大きな柱として定められた、構造の安定、火災時の安全、高齢者等への配慮など、9項目の住宅の性能について評価し、住宅取得者に対して住宅の性能に関する信頼性の高い情報を提供する制度です。

平成12年の住宅性能表示制度のスタート時には、新築住宅だけを対象としていましたが、平成14年12月から既存住宅（いわゆる中古住宅）も対象となりました。また、制度スタート時からの全国実績は、平成15年10月末現在で設計評価約24万戸、建設評価約10万戸と既存住宅評価123戸と着実に定着してきています。

また、住宅性能表示制度を活用することにより、住宅の性能を共通のものさしにより表示することができるので、住宅の消費者に対して自分の設計した住宅性能をアピールすることもできます。さらに、万一のトラブルについても専門機関が対応してくれますので安心です。

このように設計者・施工者・消費者にとって有益な制度となっていますので積極的に活用しましょう。

■ 問い合わせ先 山梨県土木部住宅課計画担当 TEL 055-223-1731



山梨の分権型まちづくりシンポジウム

～これからの市町村のまちづくりを考える～

主催：山梨県

共催：山梨県都市計画協会

1. 目的

現在は、急速に都市が拡大する「都市化社会」の時代から、安定・成熟した「都市型社会」の時代を迎えていると言われている。また、住民の意識も大きく変化し、住民自らが主体的に参画しようとする動きも広がっている。

そのため、この分権化による住民参加の高まり等を受け、平成11年の地方分権一括法および平成12年の都市計画法の改正などが実施されたところであるが、地方公共団体、とりわけ住民に最も身近な行政主体である市町村は、一つの地方政府という意識のもと、地方主体のまちづくりを推進していくことが期待されている。

そこで、各地の「事例発表」を交えながら、パネラーの方々と会場の皆様に、今後の市町村のまちづくりのあり方等について意見交換していただき、地方主体、住民主体型のまちづくりの実現に寄与することを目的に、本シンポジウムを開催するものである。

2. 対象 県民および市町村職員（200名程度）

3. 概要

・開催日 平成16年2月23日（月）

・開催場所 ベルクラシック甲府 3F ユージェニー

（甲府市丸の内1-1-17 TEL：055-254-1000）

・開催時間 午後1時30～4時30分

・内容

1：00 受付

1：30 主催者挨拶

1：40 パネルディスカッション（2時間20分…内休憩10分）

「山梨の分権型まちづくり」これからの市町村のまちづくりを考える

コーディネーター	山梨学院大学法学部・大学院社会科学部研究科教授	濱田 一成
	主婦（市川大門町まちづくり懇談会会員）	遠藤 美恵
	国土交通省関東地方整備局建政部住宅調整官	青木伊知郎
	長野県南安曇郡穂高町長	平林伊三郎
	南都留郡富士河口湖町長	小佐野常夫

4：00 質疑応答（30分）

4：30 閉会

問い合わせ先 山梨県土木部都市計画課 市町村計画指導担当 TEL 055-223-1731

連合会誌『建築士』掲載「私の推薦する作品」推薦作品の募集について

本建築士会として連合会に推薦する作品を選考するため、下記により作品を募集します。

○応募要件

平成13年以降に竣工した本建築士会会員設計の作品で、地方性に富んだ芸術的なもの。

○募集期間 平成16年2月10日必着

○提出図書

・建築概要（書式任意）

設計者名、名称、所在地、用途、構造階数、延べ面積、設計意図（150字以内）

・図面（コピー可）

配置図、平面図、断面図、矩形図

・写真（カラー、キャビネ判）

外観3点以上、内観2点以上

○提出先 建築士会事務局

○選考方法 会長・副会長が推薦作品1点を選考

第46回建築士会全国大会に出席して

青年部 立和名浩之

見聞を広げる、実物の建築を体験する意味で、旅をしたいと日頃思っていますが、ふだんは日々の生活に追われ、どこにも行かずじまい。今回の宮崎大会はよい機会だと思い、私は、初めて第46回建築士会全国大会に出席させていただきました。

会場は日向灘に面して建つシーガイア・ワールドコンベンションセンター。各都道府県建築士会または団体によるまちづくり、ものづくりなどの活動をプレゼンテーションしている「屋台村」が50ほどのブースで展開されています。町の活性化を目的にしたまちづくりを望む地域は多いと思います。ただ、その実現にあたっては、行政、住民など多くの人の共通理解を必要としますし、資金の問題など、解決すべき課題が盛りだくさん。まちづくりは、「提案しても、実現するのは難しいぞ。」と思っていたのが私の個人的感覚。しかし、各ブースを拝見して、難しいにしても、提案して、現実に向けて活動を継続していくことは大切なことだと思いました。各ブースの活動状況を表現するプレゼンテーションの手法は、3D、画像の加工などのコンピューターグラフィック、または模型などを駆使したもので、工夫された表現方法を見ているだけでも楽しくなります。

大会は然るところながら、楽しかったのは、周辺建物の見学。現代建築として、都城市民会館、そして、国選定重要伝統的建造物群保存地域である美々津の町並みと飢肥武屋敷群を見学しました。

美々津は日向灘に流れ込む耳川の舟運で栄えた港町。町並みに建つ家に現在も住まわれていますが、ファサードは当時の面影をよく残しています。町並みの一面に設けられた博物館に展示されている復元模型で、美々津の町の構成を知ることができます。

飢肥は門と塀で構成される武家屋敷の町並みが残されています。飢肥城には、故藤岡通夫先生による松尾の丸が復元されています。座敷部分のみならず、御寝所、湯殿、便所、台所などの奥の部分も見学することができるので、武家の生活を知ることができます。ああ、行ってよかった宮崎。

道中お世話になりました藤田幸二氏、和田之男氏、土谷芳仁氏、手塚元廣氏、また、名取会長には会場での昼食時に楽しいおはなしをありがとうございました。



技術センター見学会

女性部 興石 範子

10月18日に、東京都八王子市にある「都市基盤整備公団 総合研究所 技術センター」を見学しました。特別公開日でしたので、一般公開のときには見ることが出来ない振動実験棟や、シックハウス実験住宅も見学することができました。振動実験棟では、阪神・淡路大震災と、2003年9月26日に発生した十勝沖地震の地震波を振動台の上で体験しました。十勝沖地震は、これまで体験したことのある地震の何倍かの揺れだった、という感覚に対して、阪神・淡路大震災は、想像を越えた揺れ方でした。「揺れ方」という言葉も当てはまらない感じです。自然の力にただ驚きました。建物の耐震も必要ですが、家具の固定も大事であることが、改めて感じられました。

雨の降る中、ほとんどの施設を駆け足で回り、参考になったものが居住性能館の「遮音性能の体験」でした。カタログではよく目にする〇db。実際の防音サッシの性能と、二重サッシの性能を自分の耳と「〇db」と表示される数値の違いを知ることが出来ました。私の耳では、10db以上の差がある二重サッシでないと、遮音の効果が感じら

れないこともわかりました。「あかり空間の体験」では、天井高の変化や、間接照明やダウンライト、ブラケットライトなどの有無で変化する室内空間などが体験できました。

「百聞は一見にしかず」ということわざの通り、これからの仕事に役立つ貴重な経験になりました。ありがとうございました。



建築学会 研修旅行に参加して 建築学会山梨支部 小尾昭七

毎年建築学会では研修旅行を実施していることは、既に「建築士 やまなし」で何度か紹介させておりますのでご存知であると思います。

浅学な私もここ数年参加させていただき、大変勉強になっておりました。今年はどこを研修するのか大変楽しみに参加しました。

最初に六本木ヒルズとお聞きして、確か以前の研修で訪れたことが有る様に聞いていました。私はその折は入院中で参加できませんでしたので、最新の建築を見れることで楽しみにしていました。展望台に行きその周囲の東京の景色にさすがと感じました。しかしその後には本当の研修があり、展望台はそのための下見に過ぎませんでした。森ビル設計室の方が3人お見えになり、説明され展望室の直ぐ下の同一敷地にある「けやき坂コンプレックス」の建物を上から見たとき、その屋上を緑化して景観上から見良い建物にしたいとの希望があり

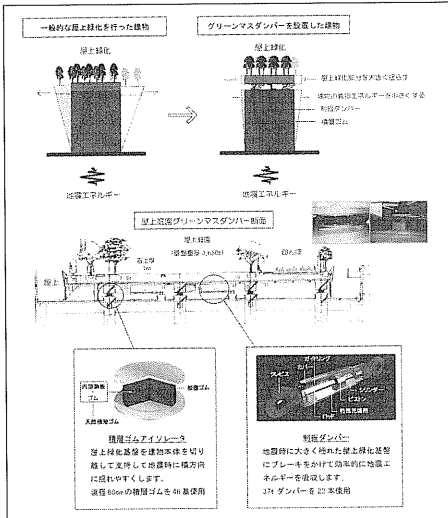
ましたが、緑化するためにはその為の土壤を乗せねばならず、その荷重が大きく特に地震時には過大な負荷を建物に掛けることになるということでした。

地震の対策として免震構造が重要建物には取り入れられるようになって来ましたが、最近では高層建築では建物の揺れを少なくして、耐震構造にする方法が検討されるようになって来ました。

屋上に水槽を設けるとか、振り子を設ける等と聞き、なるほどと感心しておりました。

「けやき坂コンプレックス」の建物は屋上庭園のこの荷重を逆手にとり、この荷重を制振構造に利用したことが特徴であった。それは屋上庭園の下に免震に使用する積層ゴムアイソレーターを使い、また制震のためダンパーを使ったとの説明を受け、そんな方法もあるんだと感心して聞きその現場に直接行き説明され、なるほどと納得しました。

屋上緑化で耐震性をアップ「けやき坂コンプレックス」 設計本部 構造設計G



六本木ヒルズ 制振・免震ビル一覽

森ビル(株) 設計本部

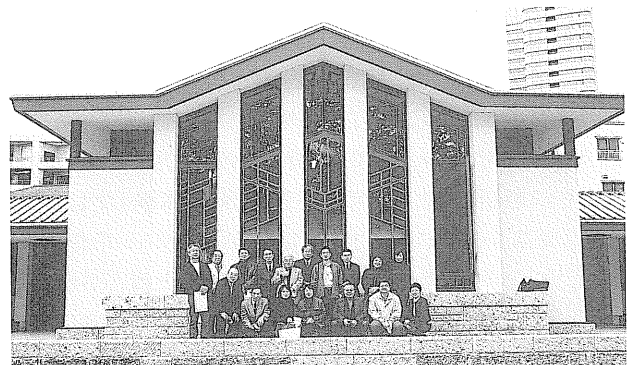
計画名称	六本木ヒルズ 森タワー	ザランド ハイアット 東京	けやき坂コンプレックス	レジデンスロッド	レジデンスロッド	レジデンスロッド
制振・免震	制振 セパレートタイプオイルダンパー Separate Oil Damper	制振 低剛性鋼板制振壁 Low rigid joint Steel Shear Wall	制振 グリーンマックスハンガー Green Max Hanger	制振 粘性制振壁 Viscous Dampers Wall	制振 粘性制振壁 Viscous Dampers Wall	免震 ゴムアイソレータ Vibration Isolation
設備デバイス						
階	地上 54 / 地下 6	地上 21 / 地下 2	地上 7 / 地下 3	地上 43 / 地下 2	地上 43 / 地下 2	地上 18 / 地下 2
延床面積(m ²)	238,892	69,522	47,468	152,468	152,468	62,730
延床面積(m ²)	380,105.00	69,630.24	23,831.48	58,398.48	48,569.55	26,542.73
延床面積(m ²)	3,658.88	1,170.58	2,558.41	1,075.82	1,035.62	1,018.22
延床面積(m ²)	410	335	665	336	338	3,225, 3,175
構造形式	柱 CFT、梁 S 鋼鉄構造(ベタ基礎) Mat Foundation	柱 CFT、梁 S 鋼基礎 Pile Foundation	SRC造、一部梁 S 鋼基礎 Pile Foundation	柱 CFT、SC梁 鋼基礎 Pile Foundation	柱 CFT、SC梁 鋼基礎 Pile Foundation	RC造 鋼基礎(ベタ基礎) Mat Foundation
制振・免震設備数	51795のオイルダンパー 356 箇所 7000のオイルダンパー 192 箇所 (Unbonded Dampers)	低剛性鋼板制振壁 140 枚	ゴムアイソレーター 46 台 粘性ダンパー 22 本	粘性制振壁 336 枚	粘性制振壁 344 枚	ゴムアイソレーター 40 台

第二の研修はフランク・ロード・ライトの設計の「自由学園明日館」と聞き、私の若いころ日比谷の「帝国ホテル」に何回も通って、将来はと夢を育てた頃を思い出して、楽しみにしておりました。

明日館について、初めて見たときは正直言って何か期待が外れた思いがした。しかし大成建設設計本部の小林氏の国の重要文化財指定を受けての保存修理の色々な説明と内部の様子や復原された備品など見るうちに、さすがライトと思いました。

建設されて既に80年経過しておりますが、一部の装飾的な窓枠等を除けば現在も十分通用するその先見性に感心させられました。日比谷に有った当時の帝国

ホテルが明治村に復原された後の建物のイメージの違い、やはり建てられた場所に有り、同類の用途に使用されてこそその価値が有ると思えました。



住みたいね！家族の絆育む住まい

（'03 やまなし住宅フェア）

山梨ゆとりある住生活推進協議会
事務局 清水 昭 夫

「住みたいね！家族の絆育む住まい“03住宅フェア”」をキャッチフレーズに、11月15日、16日の2日間にわたって小瀬スポーツ公園の体育館及び前庭において「'03やまなし住宅フェア」が開催されました。

この住宅フェアは、県民の皆様に住宅に関する最新で豊富な情報を提供し、豊かさを実感できるゆとりある住まいづくりの実現を図ることを目的とした「山梨ゆとりある住生活推進協議会」が開催する県内最大の住宅関連イベントです。今回で14回を数え、住情報の交流の場として県民の間に広く定着してきたところであります。

昨今の我が国の経済情勢は、バブルの崩壊の後遺症から脱却できず悪戦苦闘の連続であり、雇用や所得への不安、また景気の先行きの不透明感から依然として回復の兆しが見えない厳しい状況であります。

こうした状況の中、本年度の住宅フェアへどのくらいの企業が参加して頂けるのか非常に不安でした。

しかしながら、出展案内、出展勧誘をするなかで、生活者の視点にたった安全で安心できる住まいづくりについて、住宅関連産業の方々のご理解を頂き、県内外から55企業・団体の出展を頂くことができました。

今年は、近年県民の皆様が非常に関心を寄せていること、また、建築基準法が改正されたことなどから、新たにシックハウス問題をテーマとし、「シックハウス対応関連コーナー」を設けると共に従来と同様ハウズゾーン、住宅機器ゾーン、住宅材料ゾーンなどにゾーニングしました。各ゾーン、各ブースともそれぞれが工夫を凝らし、最新の機器や情報を展示・提供し、来場者に「見て」、「聞いて」、「触れて」十分に実感して頂けたと思っています。

壁面展示コーナーは、県内建築科高校3校による模型や若さにあふれた感性による住宅の提案作品、県内の建築文化の向上を図る建築文化賞受賞作品、公共建築の日が制定された県土建設週間優良建設工事写真がそれぞれ展示され来場者の注目を浴び

ていました。

また、住宅セミナーも模擬上棟式建物前広場に会場を移し、初日は「我が家のシックハウス対策」、2日目は「安心して家を建てるには」と題した建築家講師の解り易い話に多数の来場者が熱心に聞き入っていました。

この他、恒例となりました甲府市消防記念会の皆様による木遣り・纏振り・梯子のりの実演、模擬上棟式でのもちまき、親子木工教室、昔懐かしいチンドン屋さんによるピラ配りなどの催しが参加された皆様から好評をうけました。

1日目の夜から降り出した雨も、関係者の皆様の熱意で吹き飛び、フェアへの影響もなく穏やかな2日間であり、家族連れなど多くの皆様の来場を頂き、住情報の提供の場としての目的は達成できたものと思っております。

これもひとえに建築士会を始めとする関係機関や出展企業・団体、実行委員会の皆様のお力添えの賜であると深く感謝申し上げます。

未だ景気回復の見通しが不透明な状況ではありますが、地域社会や生活の基盤である住宅についての県民の関心は非常に高く、常に新鮮で正確な情報を求めており、これからも住宅フェアの役割はますます重要となっていくものと思います。

また来年も、県民の皆様のニーズに応え、多くの来場者を迎えて盛大に開催したいと考えております。ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

